

【件名】

創業教育の取組について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

区は、伴走型中小企業経営支援体制の構築に向けた環境づくりの中で、経営者グループや学術機関と連携した創業教育を行うことで、ひいては区内の創業機運を高め、新たな創業を継続的に生み出し、区内産業の活性化を図ることとしている。

本事業については、創業支援の一環としての中期的な取組として、かつ子どもの未来を創る一翼を担うものとして実施するものであり、次期基本計画における重点プロジェクト「子育て先進区の実現」に位置付けることを検討している。

以上を踏まえ、本取組について報告する。

1 実施目的

- ・中高生や短期大学生を中心とした若年層に対して、「起業」を身近に感じてもらい、職業の選択肢として「起業」があることを知ってもらうとともに、課題発見力や創造力、課題解決力等を育む。
- ・経営者グループや学術機関と連携した事業を行うことで、伴走型中小企業経営支援体制のネットワークを広げるとともに、強化する。

2 令和7年度の実施内容（予定含む）

(1) 新渡戸文化短期大学を対象とした取組

- ・参加する学生が学術機関における商品開発の理論・技術を実践的に活用し、商品開発、販売戦略の立案、実践販売、フィードバックを通じた改善までのプロセスを体験する。
- ・商品開発については、区内の事業者の協力を得て、協働による開発・実践販売を行う（協力事業者の店舗及び中野区役所1階での販売を想定）。
- ・取組内容については、西武信用金庫が主催（区：共催）する「ビジネスプランコンテストなかの」（令和8年1月28日実施予定）においてプレゼンテーションを行う。
- ・さらに、区内金融機関が実施する物産・見本市への参加や、参加する学生の区内事業者への就業につなげていくことを検討する。

(2) 区立中学校を対象とした取組

- ・3日間のプログラムで経営者とともにボードゲームを行い、経営者との交流を通じて経済活動や起業の仕組みを楽しく体験的に学ぶ。あわせて、社会との接点や働くことについて、よりリアルな経験を得ることができる機会として、経営者の企業訪問を行う。
- ・区立中学校において例年実施している「キャリア教育」の中で実施する（各区立中学校との調整の結果、3つの中学校から生徒数名程度が参加する予定）。

・10月28日～30日（1校）、11月26日～28日（2校）に区役所で実施する予定（3日目は企業訪問を想定）。

3 今後の展開

- ・今年度の実施状況等を踏まえながら、令和8年度以降の取組を検討する。
- ・この一環として、令和8年度は新たに、令和7年度に新設された東京都の補助金「子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村支援事業」（補助率10分の10）を活用した事業展開を検討する（チャレンジショップ事業の実施等）。

【参考】「子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村支援事業」の内容（抜粋）

概要	子供目線に立ち、子供の健やかな成長に資する、学校外の体験機会や学びを得ることができる活動への補助（新規・拡充事業のみ、ソフト事業）
実施主体	区市町村（民間団体等への委託可）
補助経費	体験活動を実施するために必要な経費
補助率・ 補助期間	補助率：10／10（1区市町村当たり最大3年間） 上限額：10,000千円（1区市町村当たり） 補助の新規採択は令和7年度～9年度を予定
体験活動 イメージ (抜粋)	職業体験 ・地元企業への職業体験 ・地元スタートアップ企業による起業家教育につながるワークショップ ・地元企業と連携したものづくり体験活動 ・地元農家と連携した農業体験活動